

# ふきのとう

## 令和7年度 市立秋田総合病院 病院祭を開催しました



▲手術体験コーナー



▲キッズファーマシー



講話の  
ようす

災害時に  
活躍するDMATの  
活動について

泌尿器疾患の  
「ダビンチ」手術



▲子ども向けコーナー!ヨーヨーつり



▲はたらく車の展示



▲大好評のバビヘア販売

※病院祭の詳細については4ページをご覧ください。

# 当院の災害医療対応について

当院は、平成30年8月20日に災害拠点病院の指定を受けております。災害拠点病院とは、災害発生時に初動医療救護班の派遣や、搬送重症患者に対する救命救急医療を行う災害医療の中核を担う病院です。来るべき有事に備え、当院では様々な災害対策を実施しており、その一部を紹介いたします。

## ◆大規模災害時対応訓練

当院では、年に一度、多数傷病者の受け入れを想定した訓練を行っております。災害発生時では、限られた人的・物的資源のなかで最大多数の傷病者に最善の治療を行うことが必要となります。当院は、1階フロアに災害医療体制が敷かれます。傷病者は西入口から受け入れを行い、トリアージエリアで重症度別にふるい分けを行い、緊急性や重症度に応じて多数の患者さんに適切な治療を行います。

実災害が起きた場合、災害医療体制を十分に発揮するためには、平時より防災訓練を通じて、災害時の具体的な対応策が病院の各部署、各職員に理解され、浸透していることが大変重要です。今後も本訓練を定期的実施し、有事には即座に対応できるように災害対策に取り組んでまいります。

## 【災害医療体制のレイアウト(1階)】





## 【災害対策本部(5階講堂)】

・・・災害発生後速やかに設置され、情報を一元的に集約し、迅速な意思決定を行う組織です。先ず、被災状況を調査し、被災レベルに応じて災害医療体制移行や避難を決定していきます。関係機関との情報共有を行い、病院事業の復旧までを指揮します。

## 【傷病者搬送の様子】

・・・本訓練では、秋田看護学校の学生に模擬傷病者役の協力をいただき、傷病者の搬送作業を実施しました。実災害に近い訓練が出来ることで、経路や所要時間、適性人数等の課題が顕在化し、災害医療対応をブラッシュアップしています。



## 災害医療派遣チーム(DMAT)

「DMAT(ディーマツト)」と呼ばれ、発災後48時間以内に迅速に派遣される組織であり、災害急性期に活動できる機動性を持った医療チームです。発端は、1995年に発生した「阪神・淡路大震災」であり、当時の初期医療体制の遅れが指摘され、平時の医療が提供されていれば、救命できたと考えられる「避けられた災害死」が500名存在したと報告されています。

DMATは、災害現場の災害医療対応、病院支援、被災地外に搬送する広域医療搬送など、多岐にわたる医療的支援を被災地域で行います。令和6年1月1日の能登半島地震の際にも、当院からDMATの派遣を実施しています。また、市・県・東北ブロック等の様々な災害医療対応訓練に参加し、DMAT活動における実効性の検証を行うとともに、関係機関との相互協力の円滑化を図っております。一人でも多くの命を助けるため、今後も災害医療派遣に積極的に協力して参ります。



緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(R6.11)

## 【出動内容】

- 2016年 4月  
熊本地震
- 2018年 9月  
北海道胆振東部地震
- 2019年10月  
東日本台風(19号)  
豪雨災害
- 2020年 9月  
秋田港漁船爆発事故
- 2023年 7月  
秋田県豪雨災害
- 2024年 1月  
能登半島地震

## 令和7年 病院祭開催について

10月25日土曜日に令和7年病院祭を開催しました。天候にも恵まれ、穏やかな秋晴れの中、開催することができました。10月は各所で色々とイベントがある中、500名を超える多くの方々にお越しいただきました。

手術ロボット操作体験・キッズファーマシー・各種測定コーナー・ちびっこコーナー・はたらく車の展示など毎年好評をいただいているコーナーの他に、今年新たに、野菜果物・ババヘラ販売、プロマジシャンによるマジックショーなど新しいコーナーも設けました。特にマジックショーでは会場の子供たちがプロマジシャンと一緒にマジックに参加したり、お手伝いをしてくれたりと会場全体の一体感が生まれ大盛況でした。

病院祭の様々な体験やイベントを通じて、子供たちに医療従事者の仕事に興味をもっていただきたい、そして市立秋田総合病院が市民の皆様の身近な病院と感じていただければ幸いです。



手術ロボット操作体験



院内保育園のおゆうぎ会



看護部では、ちびっこコーナーをBCブロックスペースに作り、4つの催しで子ども達を迎えました。「ヨーヨー釣り」では、ビニールプールの中の130個のキャラクターヨーヨーが、残り1時間の時点でほとんどなくなるという珍事が・・・。「なりぎり看護師さん」「製作：ハロウィンの飾り」「輪投げ」と大盛況でした。



今年は28組の方々が出題に参加してくださり、昨年を上回る大盛況でした。クイズをお楽しみいただいたと同時に、CT検査がどのような検査なのか、どのような画像が得られるかなどについて知っていただくことができました。



フレイル予防をテーマにお食事のアドバイスを栄養補助食品の紹介をしました。展示していたフードモデルを見ながら、バランスよく食事できていると安心する方、野菜不足を反省される方、大好きなカレーライスを紹介してくれるお子様など、たくさんのお話を聞かせてもらいました。

例年、薬剤部ではキッズファーマシーと銘打ち、来場されたお子さんへ調剤業務を経験していただいています。今年も非常に好評で、たくさんの方に薬剤師の仕事を知っていただくことができました。薬剤部一同、大変嬉しく思っております。



病院祭では、地域の皆様を対象にフレイルとオーラルフレイルのチェックを実施し、64名の方にご参加いただきました。体力測定や健康相談を通して、日頃の健康作りへの関心が高まる貴重な機会となったと思います。

## 医療費後払いシステム(ラク〜だ)の導入について

当院では、今年11月より「医療費後払いシステム」の運用を開始いたしました。本システムは、事前に登録したクレジットカードから後日自動的に決済される仕組みで、患者さんは診察終了後に会計を待たずにご帰宅いただけます。

### 後払い登録患者のメリットは以下のとおりです。

- (1) 診察後の会計待ち時間がなくなります。
- (2) 処方箋や予約票を受け取ってそのまま帰宅が可能です。
- (3) 自動精算機に並ぶ時間がなくなります。

ご利用には、総合案内や各受付に設置しているリーフレットのQRコードから事前登録が必要です。クレジットカードの決済日は、診療日の3日後で、決済完了後には、登録メールアドレスに通知が届きます。領収書が必要な方は、決済完了メール受信後、患者サポートセンター入口右側に設置した「領収書発行専用端末」から発行できます。  
※発行には診察券が必要です。



(後払いシステムについて)

## 登録医のご紹介

### ひらの小児科クリニック

◆診療科目:小児科 院長 平野 修平

当院は2024年9月2日に秋田市広面に小児科医院として開業しました。以前は同地に母が眼科として開業しており、眼科閉院後土地を借りて小児科医院を建てました。当院の名称とマークは、同地で長く開業していた、ひらの眼科を受け継げるように、「ひらの」の文字とマークをそのまま使用しております。

私の経歴としましては、秋田大学医学部を卒業後に市立秋田総合病院で2年間初期研修医として勤務しました。もともと小児科志望であったため、小児科をメインに研修を行いました。現在秋田県医師会会長の小泉先生が小児科科長であり、とても有意義な研修生活を過ごすことができました。その後は小児科医として、秋田市や横手市などで勤務し、秋田赤十字病院での新生児医療や秋田県立医療療育センターでの在宅医療など、多くのことを学ぶことができました。

私の研修医時代に市立秋田総合病院で小児科救急外来がスタートしたこともあり、開業の小児科先生からもお教をいただくことができ、大変勉強になりました。開業後は小児科救急外来にて月に数回従事させていただき、昔を思い出し感慨深いものがあります。

当院の特徴としては、一般診察と予防接種・乳児健診のエリアを分けていること、また感染対策として別入り口の隔離部屋を設けていることがあります。予防接種・乳児健診もご家族の都合に合わせて、希望の時間に受けられるようにしております。また秋田県立医療療育センターでの経験から、バギーなどを使用する患者様にも当院を利用しやすいように、入り口でのスロープの作成や、待合室も少し広くしております。

開業し1年が経っており、あっという間に過ぎたなというのが感想です。今後とも自己研鑽に励み、地域のお役に立てるように頑張っていきたいと考えております。



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	—	●	●	—
【休診日】日曜・祝日						

## 救急外来の受診について

当院は入院を要する緊急度・重症度の高い患者さんを24時間体制で受け入れている二次救急病院です。受付時にトリアージを行い、緊急性の高い重症の患者さんを優先的に診療しています。

発熱や咳などの症状の方は、まずはかかりつけ医にご相談ください。

年末年始ならびに連休期間中は軽症を含む非常に多くの患者さんが受診されるため、スタッフを増員して対応しているものの足らず、受診の際には長時間お待ちいただくことがあります。全国的な薬剤不足のため処方できないものもありますのでご了承ください。

また、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大が予測されます。このため、症状が比較的軽く、重症化リスクが低い方(基礎疾患がないなど)は、ご自宅での療養にご協力をお願いします。病院としての機能維持にご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 紹介受診重点医療機関

かかりつけ医療機関を受診していただき、専門的な検査・治療等が必要と診断された場合は当院が紹介されますので、その際は紹介状をご持参の上、当院を受診いただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 再来受付時の整理券発行

10月22日より、平日に限り、午前7時から混雑が緩和される8時過ぎまで再来受付する患者さんに整理券を発券し、受付開始まで椅子に座って待っていただく運用に変更しました。8時になりましたら係が番号順にお呼びしますので、整理券を渡して受付するようお願いいたします。

## 職員の名札変更

令和7年10月より名札のレイアウトを一新しました。従来よりも、文字を大きくし、そして職種毎に帯の色分けしました。これにより名前が見やすくなり、職種の判別もしやすくなりました。



## 市立秋田総合病院

### 理念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

### 基本方針

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
- 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

編集・発行 / 市立秋田総合病院 令和7年12月19日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 ナビダイヤル:0570-01-4171・Fax:018-866-7026

E-mail: ro-homn@akita-city-hospital.jp <https://www.akita-city-hospital.jp/>



(ホームページ)